

体育会ワンゲル女子誕生50周年記念誌



同志社大学 体育会ワンダーフォーゲル部OB会

我らワングエル女子

色は黒くとも

脚は太くても

背に食い込むザックの重みも

吹雪に耐えた冬山の厳しさも

満天の星空に涙したことも

テントの中の語らいのひと時も

みんな、私たちの宝物

これからもずっとずっと・・・

実行委員一同

体育会ワンゲル女子誕生 50 周年記念誌

同志社大学 体育会ワンダーフォーゲル部 OB 会

体育会ワングル女子誕生 50 周年記念

体育会ワングル女子誕生 50 周年記念実行委員会
実行委員長 荒木 彩子

時は春、桜前線はどんどん北上していきます。それぞれの場所でそれぞれの花を精一杯咲かせながら・・・1月に発足した「体育会ワングル女子誕生 50 周年記念実行委員会」のアンケートの回収率は 77.9 パーセント、桜の便りが次々届く春爛漫の頃、集計も進み、若手実行委員の手によって素晴らしい年表とグラフが出来上がり、まさに満開の花を咲かせることが出来ました。

50 年前、桜咲く同志社今出川キャンパスで、「DWV 女子の基礎を築いていって欲しい」、「女子部員の将来は君たちの双肩に懸かっている」、そうおだてられ、励まされ、それぞれの花を咲かそうと私たち一期生は DWV の新人となりました。そう、「同志社ワングル女子」の誕生です。

それから 50 年、順調に女子部員の入部は継続し、初期の目的は引き継がれて、やがて女子の存在は当たり前になっていきました。長い歴史の間には女子部員存続の危機もあり、逆に女子部員がいたからこそ DWV の存続が可能になった時代もあったようです。

その時々女子部員たちはその時々環境の中で試行錯誤を繰り返し、DWV をこよなく愛し、その一員としてはもちろん同志社大学の学生として、精一杯花を咲かせてこられたことと思います。

そのことは皆さんから頂いたアンケートの返信の随所から読み取られ、77.9 パーセントと云う高い回答率も、一人一人にとって DWV での 4 年間がいかにか貴重な体験であり、大切な思い出になっているかと云うことの表れではないかと思えます。

幾多の苦難を乗り越えて、その時その時に大きな花を咲かせてこられた我々の大先輩、新島八重さんの精神は知らず知らずのうちに、引き継がれているのかもしれませんが。

今ここに、50 周年記念行事を迎え、記念誌を発行できましたことは、この 50 年の歴史を紡いでこられたワングル女子一人一人の存在があったからこそ、そして記念行事開催とアンケートへのご理解ご協力があったからこそと、心より御礼申し上げます。

これからも OG 皆さん一人一人が人生の花を大きく咲かせていかれますように、また DWV の益々の発展と共に、体育会ワングル女子の歴史がいつまでも続きますことを心よりお祈りします。

最後に、この行事にご賛同、ご協力いただきました OB 会、陰日なたになり惜しまぬお力添えをいただきました野中会長に心より御礼申し上げます。



ワングル女性部員の活躍を期待して

部長 鱒坂 学
(社会学部 教授)

同志社大学でワングルが組織され、その中で女性の部員が生まれて、50年となったというお話を聞きました。私が部長をお引受けして15年となりますが、その間はずっと女性の部員がおられましたので、最初の頃から女性部員がおられたと思っていました。また、私は1966年度入学ですが、その時の3・4回生の同じゼミにおられたHさんはワングルに入っておられたことを知っていましたので、普通に女性部員はいるものと思っていました。

OB会長や初期の先輩のお話によると、1960年頃は女性部員がおられず、苦勞して入部してもらったということでした。

この15年間ほどのワンダーフォーゲル部とのお付き合いの中で見たDWVの活動の特徴として私が気付いたことは、体育会所属であるにもかかわらず、①試合がない、②男女が一緒に部の活動を行っている、この2点だと思います。確かにテニスなどで混合ダブルスはありますが、思い浮かべても男女で一緒に活動している部はほとんどないと思います。つまり男性部員と女性部員とが協力して、性別の区別なく主体的に部活に取り組む、これこそがワングルの独自のスタイルではないでしょうか。

非常にジェンダー・フリーの現代的なスポーツクラブです。現在は、女性部員はあまり多くはありませんが、6・7年前には男性部員も少ない中で主将も主務も女性が担ってくれたこともありました。時々女性部員の方々の努力もあり、今のワングルがあると思います。もっとワングルの良さや楽しさを、女子学生の間を広げれば沢山の女子学生が入部してくれると思います。活動のスタイルをもっとカッコよく、スマートにし、食べ物などおいしいものに工夫すれば、女性の方が多数になるかもしれません。益々のご活躍を祈ります。

体育会ワングル女子誕生 50 周年記念誌の発行にあたり

OB 会長 野中義雄

本年の OB 会総会・創立コンパの開催に併せて「体育会ワングル女子誕生 50 周年記念誌」が発行されましたことを心よりお慶び申し上げます。

DWV は「同志社大学ワンダーフォーゲル会」として 1957 年 (S32 年) 5 月 31 日頃に設立されました。

設立直後には運動路線を巡り、文化面重視派と体育面重視派が対立しましたが、最終的には後者が主導権を握り、所謂スポーツワンダリズムを目指しました。その後、3 回にわたり体育会加盟を申請し、漸く 1963 年 (S38 年) 4 月に加盟が認められ、「体育会ワンダーフォーゲル部」として現在に至っております。

設立直後には数名の女子部員がおられましたが、体育会加盟を目指す内に自然に男子部員のみとなりました。体育会加盟後、リーダー会の方針で女子部員の入部を促進することになり、1964 年 (S39 年) より女子部員の募集を再開し、2 回生 1 名、1 回生 7 名が入部し男子上級生のサポートを得ながら女子パーティを編成することが出来ました。以来、50 年が経ちましたが、これまでに卒部された女性会員 (OG) は 75 名となり、OB 会の 17% を占めるまでになりました。

平成の時代になる前後から部員数の減少が顕著になり、女子部員が不在の年次や逆に女子が主将や主務を担当することもありましたが、現在は部員数が回復しつつあり、女子部員も 3 回生が 1 名、2 回生が 3 名、更に新入部員も入部し、女子パーティの編成も可能な状態になっております。

現役女子部員には、この 50 年間の先輩 OG の活動実績を引継ぎ、次の時代に向けて新しい女子部員の歴史を築き上げて頂くことを期待したいと思います。

また OG の皆さんには、この機会にこれまで以上に OB 会活動に参画頂くようお願いする次第です。

最後になりましたが、OG の皆さんには記念誌の発行にあたり、アンケートの回答、現役時代の写真の提供、寄稿文の投稿等々にご協力を頂きまして、誠に有難うございました。

そして 5 名の実行委員各位には、アンケートの作成から集計分析・作表作図・編集までご尽力下さり、心より感謝申し上げます。

家庭生活や仕事にお忙しい中、貴重な休日を何日も返上して実行委員会に出席して頂いたことに対して、改めて御礼申し上げます。



体育会ワングル女子誕生 50 周年に寄せて

No.106 田川 公造

1961年(S36年)4月に私はワングル部に入部しました。当時のDWVは同好会で大学からは部としては認められておりませんでした。ワングル部とはどんなクラブかも知らずに、先輩諸兄に誘われるままに30名足らずの新人が最初の顔合わせに集まっていたように記憶しています。それから3回の新人錬成合宿を経て夏合宿に参加出来るようになりました。 厳しい1回生の体験を何とか切り抜けて2回生になりました。これで少しは楽になれると思っていましたが、その頃から体育会加盟を目指して厳しいトレーニング、合宿が始まりました。体育会の部として恥ずかしくない体力を見せるために他の体育会クラブの部員が合宿に参加したこともありました。そして、先輩諸兄の努力によって体育会の48番目の一員としてワングル部が認められました。我々の学年としてはワングル部とはどのようなクラブであるべきか、色々と意見を交わしました。

全国の大学が集まる合同ワングル部場で、各大学の活動状況を聞くと夫々が独自の活動をされているようでした。文化部として活動している大学もあれば、運動部であるが厳冬期の山行などを厳しく制限しているクラブもありました。

我々の学年が体育会ワングル部としてのスタートを任されたのですが、ワングル部の初心に戻って自然を対象とする活動の中で運動部として文化的要素も含めた幅広い活動をするべきだとの考えで第一歩を踏み出しました。

1957年(S32年)の創部直後は女子部員の先輩もおられましたが、我々の頃には男子部員だけのクラブになっていました。

自然を愛し、自然と共存するワングル運動を推進するクラブとして女子部員がいないことは不自然であるとして、新しく女子部員を募集するべきとの考えに至りました。

幸い募集すると、思っていたよりも多くの女子が入部してくれました。しかし、それからが大変でした。女子部員の指導の経験のない我々が如何にして女子部を育てていくか。 先ず、女子パーティを編成して女子を中心としたワングル部を考えました。 そのためにはリーダーとなる人が必要でした。 先輩のSさんに相談すると、妹さんが2回生で山登りに興味があるとのことで、説得して頂いて女子部のリーダーとして入部してもらいました。 リーダー会としては女子部の責任者として主務のA君を選任しました。彼が適任者であったかどうかは、ともかく、慣れない女子部の指導育成に苦勞されたと思いますが、結果的には良い経験をされたように思います。その後、70名のOGがおられるということと、20組・40名ものOB・OGが結婚されていることは、誠に喜ばしいことだと思っています。

何れにしても女子パーティとしての態勢が整い、トレーニング、合宿と順調に育っていきました。我々の卒業後も、女子部員が自主性を発揮され、男子に負けない、たくましい活動によってDWVの雰囲気も今まで以上に、なごやかな統制のとれた体育会の一員として恥じないクラブに育っていったように思われます。

体育会ワングル女子誕生 50周年にあたり、思いつくままに当時を振り返りましたが、何分、新入女子部員との交流は4回生である我々は1年足らずでしたが、女子部員募集再開の礎を作った我々としては、今日まで50年もの間、女子部員が絶えることなく活動を続けられていることに、心から感謝するとともに、尚一層の活躍をお願いしたいと思います。



50 年前・49 年前の夏合宿

No.113 北濃 登美男

女子パーティ設立 50 周年、おめでとうございます。

当時の記録をと探し出したら山日記が出てきて、結構まめに記録していました。

S39 年(1964 年)の夏合宿は SL(サブリーダー)で八甲田山、S40 年(1965 年)は PL(パーティリーダー)で安達太良山でした。特に S39 年は新たに女子パーティを編成するため、新規に女子部員を募集し、2 回生 1 名・1 回生 7 名が入部し、当時、主務だった A 氏が中心になって指導されることになり、私がそのお手伝い(補佐)を命じられたと記憶しています。それからはトレーニングから新人錬成合宿へと女子部員と行動を一緒にすることになり、当時は男子グループから離れるのが正直、少しがっかりもしましたが、逆に他の同期生、男子部員から羨ましがられたのかも知れません。

そこで、今回はその合宿の日記をそのまま記載しようかと考えましたが、文面もお粗末、誤字脱字、誤解を招く表現も見受けられたので止めて、2 合宿の思い出を拾い集めてみました。今でも比較的記憶に残っているフラッシュ的光景です。

「S39 年夏合宿 八甲田山系」

- ・ 8 月 7 日、大阪駅中央コンコース集合、諸先輩の見送りを受けて出発。
- ・ 8 月 8 日、東京駅から上野駅へ、東京駅では No.36 末吉氏の見送りを受け、仙台駅では No.39 河原氏から差入れを頂く。
- ・ 8 月 9 日、公民館田茂木野分場泊、偵察(下見)に行くも方言に苦戦。
- ・ 8 月 10 日、道が判らず、何回も偵察し菅野茶屋に着く。
- ・ 8 月 11 日、田代平分校でテントを設営し、本部に野菜の買い出しに行く、キャンプファイヤー。
- ・ 8 月 12 日、沈殿日(休息日)、雨の中を偵察、一番しんどかった。
- ・ 8 月 13 日、雨の中を八甲田山に登る、鞍部で 8 テン(8 人用テント)を出して着替え、昼食、やっとワンゲルらしくなってきた、仙人岱ヒュッテ泊。
- ・ 8 月 14 日、仙人岱ヒュッテで沈殿、賑やかにしんみりとミーティング。
- ・ 8 月 15 日、高田大岳山頂でエールの練習、ドンドン下り現地本部(4 パーティの集合場所)である谷地温泉へ集結。
- ・ 合宿終了後、青森から大阪まで 5 泊 6 日(盛岡・仙台・宇都宮・横須賀・名古屋)のヒッチハイク、まさに渡り鳥、分散、集結で十数名が参加、宿探しも大変だった。

「S40 年夏合宿 安達太良山系」

- ・ 8 月 4 日、大阪駅発、8 月 5 日、磐梯熱海着



- ・8月5日・8月6日、和尚山經由安達太良山、台風を心配した夜。
- ・8月7日、野地温泉
- ・8月8日、沈殿日
- ・8月9日、鎌沼、五色沼に感激。
- ・8月11日、中ノ沢温泉集結

この合宿の前半は殆どSさんとの2人行だったように思う。

野地温泉から、やっと女子パーティらしくなったと記憶している。

- ・合宿終了後、北海道ヒッチハイク15日間、周遊券を買って行ったのに。

以上、50年も前のことを良く覚えているものだと自分でも感心しています。

しかし、記憶違いもありました。八甲田合宿の集結地を酸ヶ湯だと決めつけて、最終日に登った山は八甲田大岳だと、つい最近まで思い込んでいましたが実際は高田大岳だった次第です。それでも日本百名山の記録は、ご心配なく、八甲田大岳は昭和の終わり頃に家族で登っています。

お蔭様で50年も皆様とお付き合いさせて頂き、私の人生もDWW女子パーティを抜きでは語れない存在でした。これからも、どうぞ宜しくお付き合い下さいますようお願いして筆をおきます。

ミチ先輩のこと





50年前の春、7羽（卒業まで残ったのは4人）の雛鳥と1羽の姉鳥がすでに大空を駆け回っている鳥たちの群れの仲間入りをしました。天真爛漫の7羽の雛を率いて大きな群れの中を飛ぶのはどんなに大変なことだったでしょう！

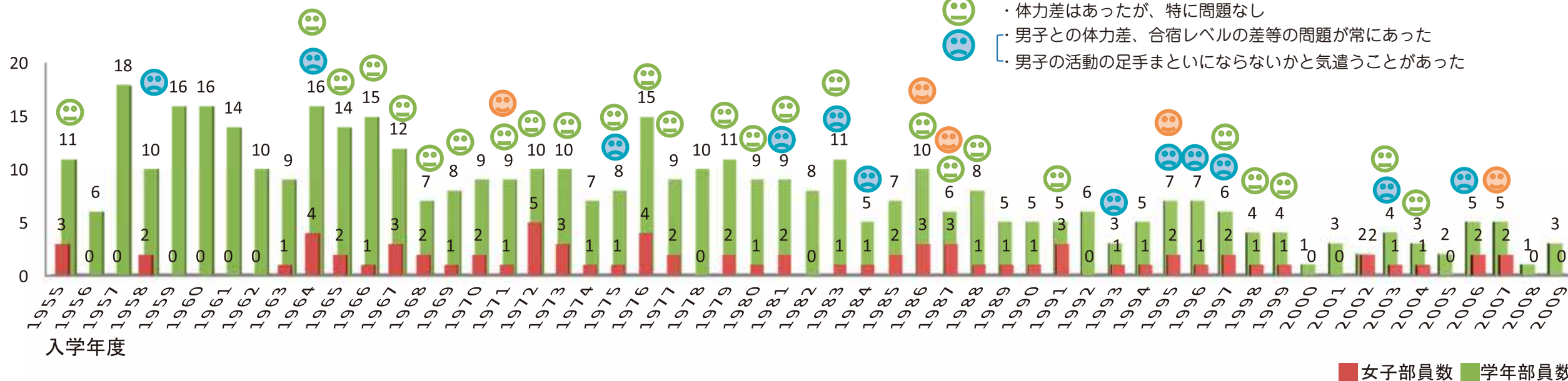
その1羽の姉鳥は30代半ばで、3人のお子さんを残し、天に召されました。記念誌の完成とこの記念コンパの開催を一番喜んでくださったのは、ミチ先輩（私たちは姉と慕い、また反発もしながら、こう呼んでいました。）ではなかったか・・・そう思うと残念でなりません。

今年もあの時、北山の谷あい教えてくださったシャガの花が庭にそっと咲きました。 < 158 >

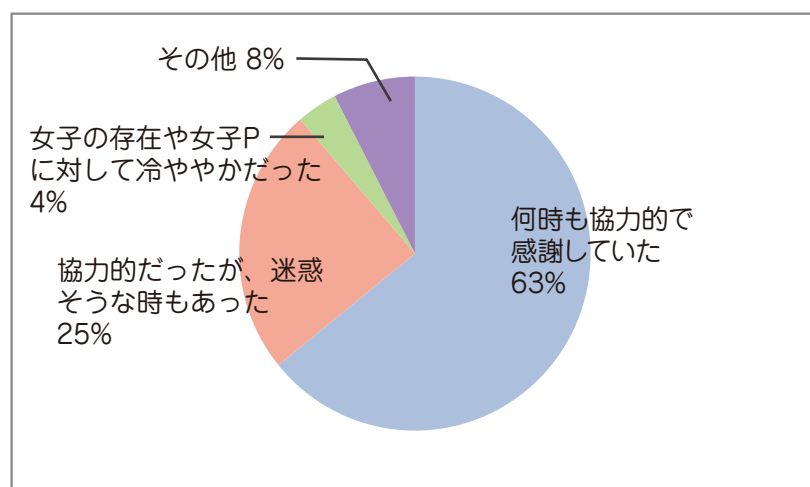


DWVにおける女子部員の存在感は？

-  ・女子の存在がDWVを支えた
-  ・体力差はあったが、特に問題なし
-  ・男子との体力差、合宿レベルの差等の問題が常にあった
-  ・男子の活動の足手まといにならないかと気遣うことがあった



女子部員の活動に男子部員は協力的でしたか？







その他

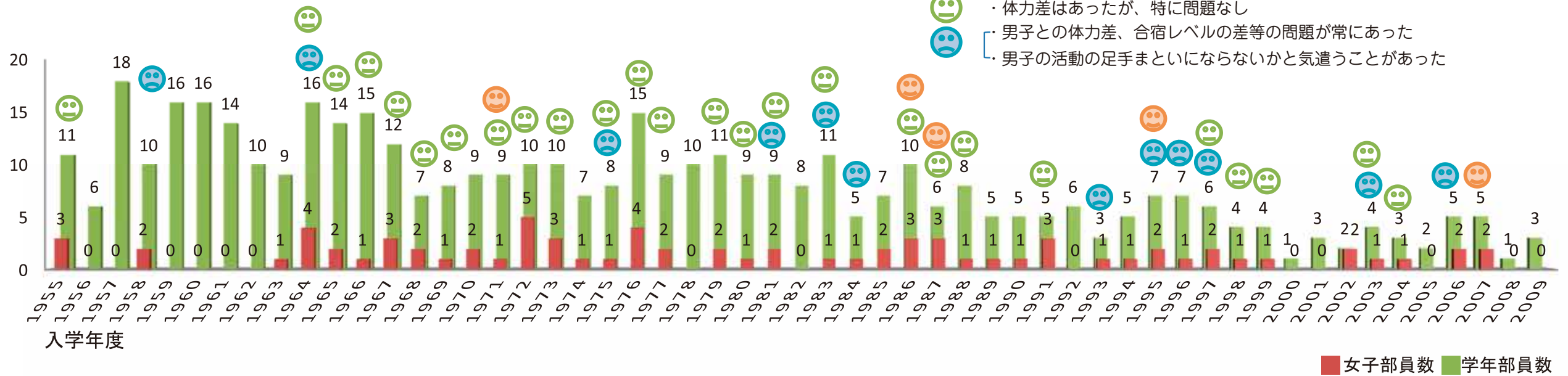
- ・頼りにされていた。女子の存在がDWVを支えていた
- ・その年によってさまざま
- ・全体的に人数が少なく、特に女子だからと云う配慮はなかったが、個人的には女子Pはテント内や山行が快適だった
- ・最初は迷惑そうな時もあったが、女子の(体力)レベルがアップしたことと、女子の数が少なくなり、クラブ全体でサポートする雰囲気になっていったように思う

年代別にみる、活動の形態

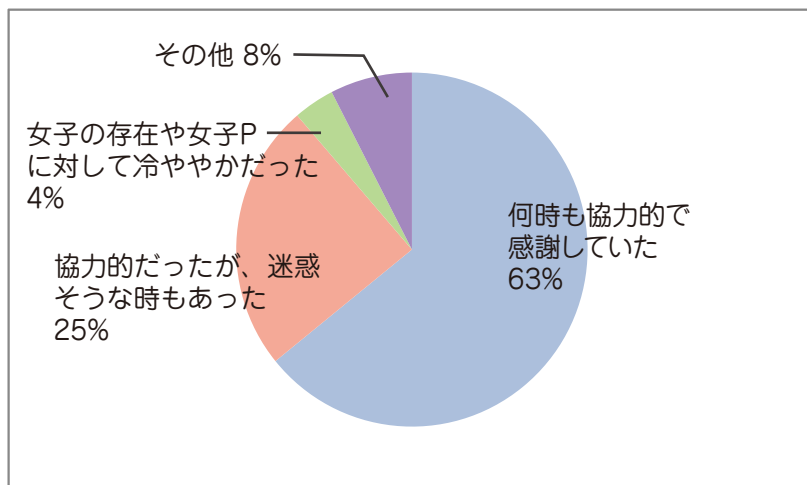
	縦走以外の活動	山の歌	山での昼食
50年代	なし	"♪♪♪(^O^)♪♪♪ よく歌った。今も仲間が集まると歌う"	昼食時間に調理。みんなで食事をする
60年代	里歩き		
70年代	山スキー、ロッククライミング	♪♪♪ よく歌ったのに、ほとんど忘れた	菓子パンを団装購入し、個人で食べる 昼食は各自購入し、個人で食べる (レーション)
80年代	山スキー、ロッククライミング、ラフティング、沢登り、自転車、無人島サバイバル	知らない	
90年代	ロッククライミング、ラフティング、沢登り、自転車		
2000年代	沢登り、ボルダリング		

DWVにおける女子部員の存在感は？

-  ・女子の存在がDWVを支えた
-  ・体力差はあったが、特に問題なし
-  ・男子との体力差、合宿レベルの差等の問題が常にあった
-  ・男子の活動の足手まといにならないかと気遣うことがあった



女子部員の活動に男子部員は協力的でしたか？



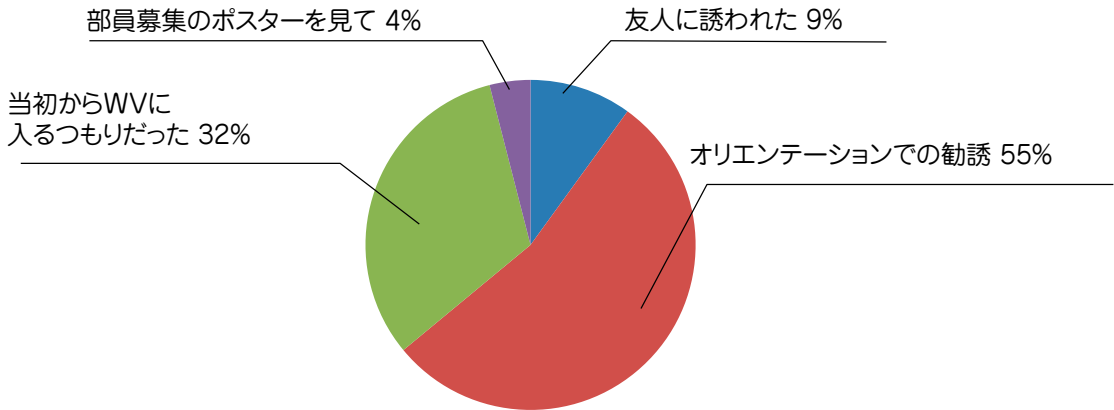
その他

- ・頼りにされていた。女子の存在がDWVを支えていた
- ・その年によってさまざま
- ・全体的に人数が少なく、特に女子だからと云う配慮はなかったが、個人的には女子Pはテント内や山行が快適だった
- ・最初は迷惑そうな時もあったが、女子の(体力)レベルがアップしたことと、女子の数が少なくなり、クラブ全体でサポートする雰囲気になっていったように思う

年代別にみる、活動の形態

	縦走以外の活動	山の歌	山での昼食
50年代	なし	"♪♪♪(^O^)♪♪♪"	昼食時間に調理。みんなで食事をする
60年代	里歩き	よく歌った。今も仲間が集まると歌う"	
70年代	山スキー、ロッククライミング	♪♪♪ よく歌ったのに、ほとんど忘れた	菓子パンを団装購入し、個人で食べる 昼食は各自購入し、個人で食べる(レーション)
80年代	山スキー、ロッククライミング、ラフティング、沢登り、自転車、無人島サバイバル	知らない	
90年代	ロッククライミング、ラフティング、沢登り、自転車		
2000年代	沢登り、ボルダリング		

■入部のきっかけ



その他 ・ やったことのない事にチャレンジしたくなった

■テントの中での話題、遊びで思い出に残るもの

山の歌を歌う	12人
おしゃべり、討論(恋バナ、下山したら食べたいもの、先輩の武勇伝、怖い話)	16人
ゲーム、しりとり	3人
トランプ	7人
その他	14人

- ・静かにろうそくを眺めていた
- ・起床時間が気になり、眠ることばかり考えていた
- ・先輩からの差し入れをみんなで食べた
- ・プリンミックス粉でプリン作り
- ・うたたね
- ・食べ物の袋の材料当て
- ・下山前日の団体装備の持ち帰りを決めるじゃんけん大会
- ・サザンのテープ
- ・読書
- ・パックをした
- ・足に出来た「マメ」の治療
- ・よく笑った

